

令和7年11月1日(土) 10:00-11:30

第6会場

<テーマ>

一歩踏み出す微生物検査の標準化と精度管理～地域や施設の取り組み

<ねらい>

近年、臨床検査分野では標準化や精度管理が求められている。しかし、微生物分野においては、他の分野と比べ標準化や精度管理は遅れていると言わざるを得ない状況にある。現状、微生物分野における標準化や精度管理の方法は決まった方法はなく各地域、各施設で異なっており、無秩序である。また、精度管理においては施設毎のハード面、ソフト面が大きく異なるため一律に同じ方法で実施することは困難な可能性も含んでいる。

この混沌とした状況の中で、一歩踏み出し標準化や精度管理をしている地域、施設の方々にどのような方法で実施しているのかにフォーカスを当て、「中小規模・大規模施設での精度管理の実際」、「地域での標準化への取り組み」について中部圏4施設の先生方にご講演いただく。

司会 永田 恵一（三重大学医学部附属病院 検査部）

石田 和也（静岡済生会総合病院 臨床検査科）

<講演内容>

1. 三重県下でのグラム染色標準化への取り組み

演者：加藤 真也（伊勢赤十字病院 臨床検査課）

2. 共通言語で高める検査の質 – AiCCLS 発

【日常微生物検査における標準手引書 第2版】の挑戦と実践

演者：加藤 雄大（JA 愛知厚生連 豊田厚生病院

診療協同部 臨床検査室）

3. 微生物検査精度管理ははじめの一步 - 試行錯誤の共有とより良い方法を求めて -

演者：浦田 孝之（富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院 臨床検査部）

4. 当院における微生物検査の精度管理の取り組み

演者：米玉利 準（岐阜大学医学部附属病院 検査部）